

大阪・繁昌亭 若手落語家コンテスト

# 林家染太(出身) 初代王者に

若手落語家が芸の腕前を競い、観客が審査する「繁昌亭ドリームジャンボコンテスト」のグランドチャンピオン大会が26日夜、大阪市北区の天満天神繁昌亭で開かれ、松山市出身の落語家、林家染太が初代グランドチャンピオンに輝いた。

上方落語協会企画委員会「いらち車」で2番目に登る、ことし初めての企画。学生時代に京都で人力車を引くアルバイトをしていた経験を生かし、「人力車で繁昌亭を疾走しまし」と勢いある話芸を披露、会場を沸かせた。

企画委員長の落語家、桂小枝から、賞状と優勝賞金、小枝手製の優勝カップを受け取った染太は「平常心を心掛けた。落語家になって

9月の優勝者の染太は「一番好きなネタ」という



繁昌亭ドリームジャンボコンテストの初代グランドチャンピオンに輝き、喜びを表現する林家染太。26日夜、大阪市北区

## 「慢心せず さらに稽古」



観客にあいさつする林家染太(中央)＝26日夜、大阪市北区

からも、いろいろな人に迷惑を掛けてきたが、少しは恩返しができたかな」と感慨深く語り「慢心せず、稽古を積んでいきたい」とさらなる精進を誓っていた。

客席には松山市から駆け付けた父狹山博之さん(66)、母博子さん(62)の姿も。博之さんは「不器用だけど、稽古を積み重ね、多くの人に支援していただいた結果だと喜んでいきます」と話した。

同コンテストは来年も開催し、3～10月に予選、12月にグランドチャンピオン大会がある。松前町出身の桂三幸、今治市出身の露の紫が出場する予定。

(奥村健)